

紫翠苑全面改築の記録

惜別と希望 この6年間の軌跡



昭和44年（1969年）生まれ 52歳

改築計画のスタート

- ▶ 2017年（平成29年）
更生保護施設大規模整備事業（全面改築）
第6次5か年計画の候補施設となる
- ▶ 2020東京オリンピックの翌年を希望

改築の必要性があるのか

老朽化

指導の変化

保安面の不安

地域への貢献

勤務環境向上



狭い玄関と受付窓口



にぎわう食堂



ただ一つの 面接室

ときどき雨漏り

暗い照明



シンクだけの洗面所

混みあう風呂



外部から
侵入者？





勤務環境の問題

- ▶ 更衣室がない
- ▶ 職員専用トイレがない
- ▶ 仮眠室が狭い
- ▶ シャワー室がない
- ▶ 夜間勤務の不安
- ▶ 狭い事務室
- ▶ 冷暖房の不備



狭い前面道路

消防車が回れない

新しい施設で解決したい問題点

- ▶ 建物の老朽化
- ▶ 住環境の不備
- ▶ 防災設備の老朽化
- ▶ 支援活動の設備の不備
- ▶ 無断外出・不法侵入への備えの不備
- ▶ 勤務環境の不備
- ▶ 職員宿舎の不備
- ▶ 地域への配慮

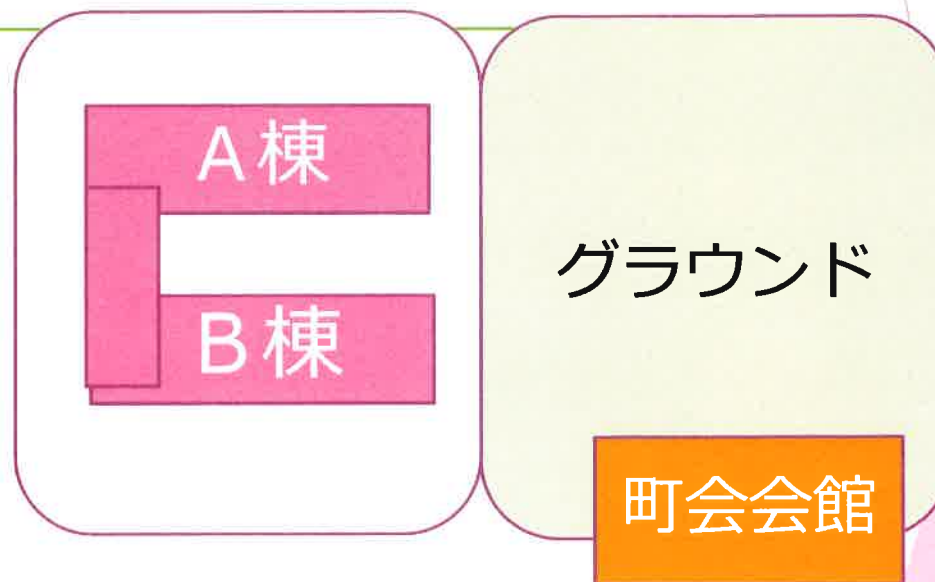
建築委員会の開催（全10回）

▶ 規模は？

▶ 設備は？

▶ 建物の位置は？

▶ 既存の建物を残すか（保護事業の継続）



建設資金の計画

▶ 更生保護事業振興財団

▶ JKA

▶ 東京都共同募金会

▶ その他（候補先団体への交渉）

▶ 改築寄付金

（多摩地区各保護司会・更生保護女性会ほか）

▶ 自己資金（基本財産の解約）



地域住民へのお知らせ

新型コロナウイルス禍の下での説明会

見慣れたこの
光景に別れを



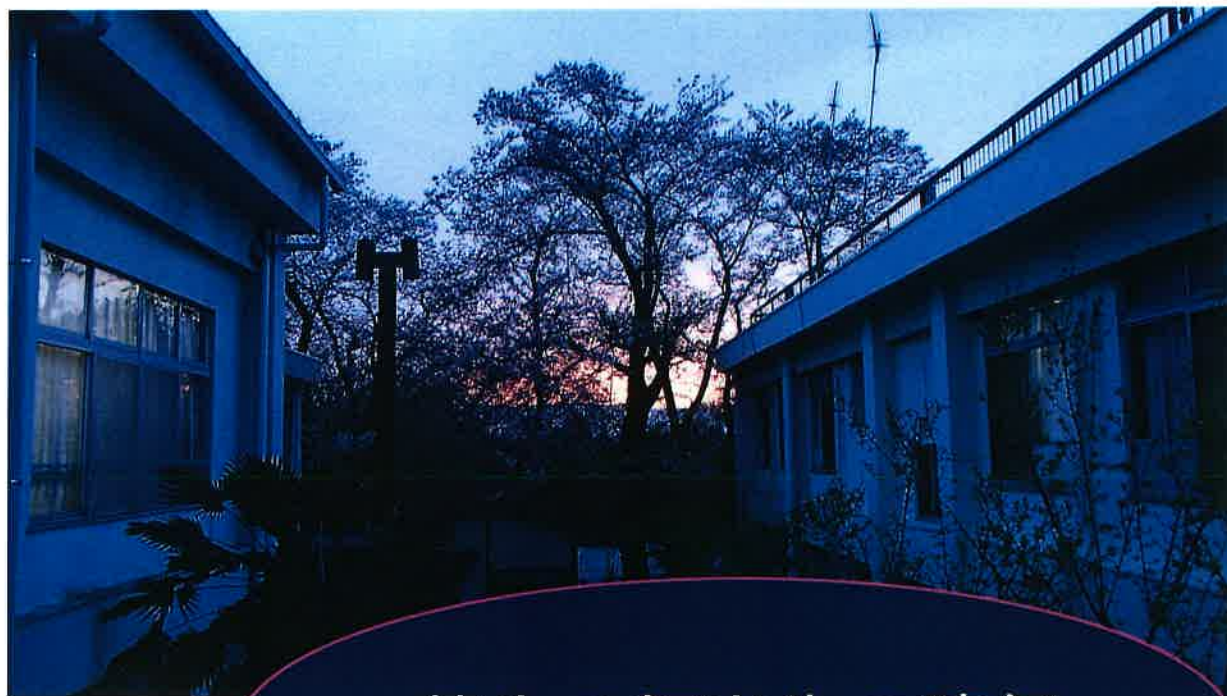


苑のシンボルだった50畳の大広間

- ▶ さようなら
- ▶ ありがとう

大広間の催し

中庭から見る夕焼けともお別れ



苑生の転出先の確保

工事期間中の備品保管は8か所に分散



- ▶ くにたち安立様
- ▶ 森屋建設（株）様
- ▶ 緑町南町会様
- ▶ ほか

工事期間中の事務所は自作でまかなう



職員は退職・休業体制へ

紫 翠 苑

八王子市緑町78番の1



トラック出入口

大型ト
出入り

工事中につき

8月から9月までかかった解体工事



A棟の基礎解体



10月14日



11月10日





11月13日



運びこまれる鉄骨







現れた骨格



床断熱工事





2 Fの床

12月17日



部屋が見えてきた



明かりがともる光景



続く夜業



2月8日



3月9日



玄関アプローチにモニュメント設置



地域の皆様からもありがたい言葉が



地域住民を対象とした内覧会

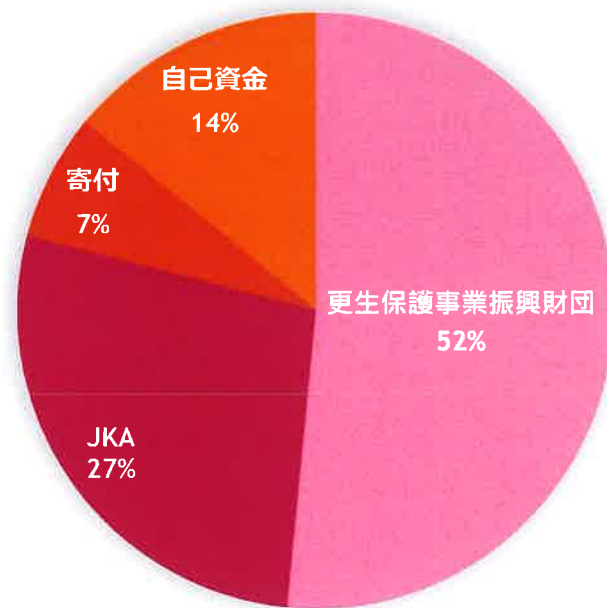


更生保護事業再開に向けて

- ▶ 備品の調達/保管荷物の戻し入れ
- ▶ オープニングスタッフの募集
- ▶ 入所者の選定
- ▶ 新年度の予算計画
- ▶ 認可事項の申請

職員に湧く思い

現在の決算見込み



総額3億1800万

■ 更生保護事業振興財団 ■ JKA ■ 寄付 ■ 自己資金 ■

地域に戻りつつある日常



八南会から受け継いでいくもの

先人の思い



井戸の水



これからの紫翠苑

- ▶ 迎える苑生とともに
- ▶ 送り出した苑生とともに
- ▶ 地域社会とともに
- ▶ 職員は気長に

